

創立70周年及び 新社屋落成記念式典

式次第

〈創立70周年記念式典〉

受付16:30～ 開会17:00～

- 1 開会の辞
- 2 田村会会長挨拶
- 3 社長挨拶・社史上映
- 4 田村会歴代会長に対する記念品贈呈
- 5 永年勤続者 表彰
- 6 永年功労者 表彰
- 7 記念撮影
(会場移動)

〈新社屋落成記念式典〉

受付17:30～ 開会18:00～

- 8 鏡開き
- 9 乾杯の挨拶
～ 歓談・御会食～
- 10 「新社屋への思い」
- 11 新入社員紹介
- 12 優秀社員賞表彰
- 13 大抽選会
- 14 閉会の謝辞



株式会社 田村工務店 新社屋 (令和5年11月竣工)



創立70周年及び 新社屋落成記念式典

2023年(令和5年)11月17日

ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸



本式典パンフレット



田村工務店HP



株式会社 田村工務店

田 村 会

株式会社田村工務店 社史

創業109年・創立70年

創業者田村欽司は明治26年(1893年)茨城県猿島郡静村塚崎(現在の猿島郡境町塚崎)で田村家の次男として生まれました。

明治の時代、生家を継ぐという事はできず「次男坊は外へ出ていくべき」という事なのでしょうか、その当時茨城県でも請負業の走りでもあった水戸の「青木組」の親戚になる青木才次郎(五霞村出身)の下に丁稚奉公に出てまいりました。おそらく15、6歳の頃でしょう。

当時の徒弟として修行を積んだ結果、青木才次郎さんには色々とお面倒を見ていただき、当時としてはまったく稀と言っていいでしょう。大正3年2月、錚々たる先生方がお見えになる東京の工手学校(現在の工学院大学)を弱冠21歳で卒業致しまして水戸に戻ってまいりました。

◎大正3年(1914年)4月請負業を開始(水戸市備前町)

そして協和町出身の八嶋家の娘、いしと結婚し、子宝にも恵まれ四男四女を設けます。この頃大東亜戦争に学徒出陣で海軍少尉として出兵していた長男の兼司が戦場から帰還し、三男の幸雄、四男の方郎と兄弟が力を合わせ、終戦直後の苦しい時代に今日の田村工務店の基礎を築いていきました。

昭和26年建設業法が変わり、行政執行部から業界に対し法人組織の設立を指導され、いち早く準備に取り掛かります。

◎昭和28年(1953年)6月20日 法人設立

株式会社田村工務店創立

◎同年株券発行

初代社長に田村欽司が就任

初年度の年間完工高は5,669,000円(現在の貨幣価値でおおよそ6億円位)という僅かな工事量に子供達の三人が手伝い、株式会社を発足したわけですが、法人設立後1年にも経たず欽司が病に倒れ亡くなります。

◎昭和29年(1954年)6月4日 田村欽司(61歳)死去

2代目社長に長男、田村兼司(32歳)が就任

昭和30年代後半から主に医療関係の建築工事を県内外で施工しはじめ昭和39年度の完成工事高を1億円の大台に乗せ年々売上を伸ばしました。この頃から「病院の田村工務店」と言われるようになります。

水戸中学(現在の水戸一高)時代の先輩、志村巖先生の病院建築を始めたことが、現在の田村工務店の大きな基礎でございます。

昭和42年(1967年)鉄筋コンクリート造5階建ての本社社屋を完成させます。

その頃は社員も50人近くになり、家族も一緒に社員旅行を楽しみました。

昭和50年代には年間10億円を超える完工高を上げ続けました。中でも茨城県医師会の城であるメディカルセンターを共同企業体として施工できたことは医療界に対しての田村工務店の名をさらに高める結果となりました。

◎昭和57年(1982年)6月11日 田村兼司(59歳)死去

3代目社長に三男、田村幸雄(52歳)が就任

平成になり完成工事高は20億円を上回る実績を上げることができました。

この頃、特別養護老人ホーム等の福祉関係の受注が増えます。

◎平成3年(1991年)11月27日 田村幸雄(61歳)死去

代表取締役会長に四男、坂場(田村)方郎(58歳)が、4代目代表取締役社長に松壽武夫(57歳)が、それぞれ就任し、その頃には「病院の田村工務店」として地域に定着するようになりました。

◎平成10年(1998年)7月13日 坂場方郎(65歳)死去

平成10年代後半から20億円を超える完工高があり平成26年には完成工事高45億円の実績を上げることができました。

◎令和4年(2022年)2月11日 松壽武夫(88歳)死去

5代目社長に田村貴也(55歳)が就任

令和5年(2023年)2月、創立70周年記念事業として隣接地に本社社屋新築工事を着工いたしました。

2023年現在、医療・福祉関係の建築実績は県内外に350件を数えます。

令和を迎え、目まぐるしく変革する時代が到来しました。田村工務店はこれからも「本来の目的を見失わず、自己変革に努め」医療・福祉関係の建築を主軸に80年・100年を迎えることができるよう社員一丸となり歩んでまいります。

田村会歴代会長

田村会は、田村工務店の協力業者により構成されています。

昭和51年に「兼和会」から「田村会」へ移行し、

現在はより結束力の強い技能者集団となりました。

歴代会長は次の通りです。(敬省略)

初代	昭和51年~昭和52年	暁飯島工業	飯島 洋輔
2代	昭和53年~昭和54年	妙法電気工事	沼田 文彦
3・4代	昭和55年~昭和58年	北東産業	中村 勝美
5代	昭和59年~昭和60年	寺門木工	寺門 義彦
6代	昭和61年~昭和62年	増田塗装店	増田 一好
7・8代	昭和63年~平成03年	千歳屋	鈴木 信史
9代	平成04年~平成05年	植田防水工業	植田 和雄
10代	平成06年~平成07年	オセヤ	藤田 富也
11代	平成08年~平成09年	共栄鉄筋工業	深谷 邦夫
12代	平成10年~平成11年	関東工作	今井 宏侑
13代	平成12年~平成13年	高橋石材	高橋 栄
14代	平成14年~平成15年	妙法電気工事	田中 秀昭
15代	平成16年~平成17年	鈴木工業所	鈴木 清
16・17代	平成18年~平成21年	第一藤江鉄工建設	藤江 栄一
18代	平成22年~平成23年	成田鉄工所	成田 隆義
19代	平成24年~平成25年	薦 鈴木組	鈴木 洋治
20代	平成26年~平成27年	オセヤ	藤田 富夫
21代	平成28年~平成29年	丸大燃工	大曾根庸介
22代	平成30年~令和01年	植田防水工業	植田 佳男
23・24代	令和02年~令和05年	暁飯島工業	植田 俊二